

# ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局；大代地区公民館 ☎ 364-8442

あいさつは心のふれあい 出会った人と あいさつしましょう

## 自然観察教室に参加して

大代西 佐藤 甚六

去る七月六日大代地区公民館主催による山形県立自然博物館の観察体験に総勢四十三名の一員として参加した。前日までの梅雨空が、当日は若干明るさが見える空模様となり、村山地方は晴天との予報に期待して、七時三十分出発した。

バスの中ではガイドさんの流暢な話術が流れ楽しいバスの旅となった。

笹谷トンネルを通過間もなく、視界がパット明るくなり、四方の山々が残雪を交えくつきりと見えてきた。

まさに村山地方は予報通りの晴天となっていた。

快適なバスの旅を終え、九時三十分目的地の博物館に到着、休憩後三グループに分かれ山登り散策に出発した。

途中案内人の説明を受けながら標高九百メートル付近で引き返し約二時間の行程を無難に終える。

「百聞は一見に如かず」と昔から言われているとおり、博物館地帯は積雪九メートル十メートルに及び、豪雪地特有のぶな林や草木等の共生過程の説明が参加者の脳裏に刻まれたと思う。

博物館を後にして標高千二百メートルと言われた月山リゾートイン（通称山小屋）で昼食を取り、くつろぐ。

すぐ目の前に見える月山で夏山スキーを満喫するスキーヤーの車が広い駐

車場せましと道路にも溢れていた。帰路物産店に立ち寄りそれぞれ土産品を手にながら四時三十分無事帰着した。

この行事を設営された館長、及川さんお世話様でした。

## 若いうちは足と胃袋で

大代東 本郷 新治

学校を出たばかりの若い人は、学校で会得した「学」を使いたくて仕方がないので、「どうしても頭と口先」だけが先行して、それで仕事をやって行こうという気持ちが先に立ちます。

これは逆で若い時は「足と胃袋」で働く気持ちが必要です。もちろん頭も切れることにこしたことはありません。ところが頭が切れるだけなら文句はありませんが、これにはうのぼれというものがついてきます。

これがその人のほかの良い面をマイナスにしてしまうのです。

それよりも足で歩いて努力し、胃袋を大切に健康な体をつくる方向にいつてほしいものです。といっても別に若いうちは肉体労働に専念しろと言うのではありません。大いに頭をつかわなければならぬし、しゃべってほしいのですが頭で考えただけで、よしとせずこれを若い体で実際に試してみることが必要です。

理論上は、こうなるんだがと、いくらいつてみても体を使ってそのとおり

にやってみると、どこかで理論とくいちがってることがずいぶんあります。そのちがいを発見し、仕事というものにはむずかしいものだと思えるのを、足と胃袋で感じとってほしいものです。

現場にはいりこんで汗と油にまみれてやるのが頭で考えることより、はるかに役に立ち後のため、いい教訓になります。

## 大代駐在所友の会総会

### 懇親会報告

友の会会長 跡辺 三夫

初めての総会の頃、出席された署長さんに日本で唯一の会だろうと言われたものでしたが、その後ずっと続いて居ります。

その後、雨の中三十余名各種の職業の方と一緒に会しての懇親会はカラオケあり民謡あり、そっちに固まり、こちに固まり、まあ大変なコミュニケーションの場でした。

皆さんにはよくぞこういう集いを開いてくれたとすっかりおほめにあずかってしまいました。

今後是非との言葉を頂きました。色々な事情も重なって四年振りでしたので御出席の人数もどうかと思わ

れたのでしたが。塩釜警察署長さんの講話も頂きました。

この時節柄、切実なお話で感銘を受けました。私等古い人間は、いわゆる古き良き時代を思い起こして何でこういう殺伐な世になつたのだろうと、感慨一汐でした。

そしてミドリ黒髪はどこへ行ってしまったのだろう、大和撫子の花はどこで咲いているのだろう等。

最後に色々な方々にお世話になりました事感謝申し上げます。

★大代各区の盆踊り・夏祭りの予定は次の通りとなっております

大代東・盆踊八月九日 石ヶ森公園(区)

雨天時八月十日

大代中・盆踊七月二十六日 大代公民館(区)

大代西・夏祭り八月三日 伊藤トラック(育成会)

大代北・盆踊八月二日 大代北公園(区・育成会)

大代南・盆踊八月二日 大和マンション前広場(区)

雨天時八月三日

★大代地区流灯花火大会  
八月二十日(水)  
貞山運河の橋本橋周辺

ご祝儀 お見舞いは 三千元を限度にし お返し物はしないようお互い気を配りましょう

# シベリアの回想

「俘虜郵便」

大代南 後藤 清一

俘虜郵便と赤いスタンプのおされたはがき、いろいろきつい制約があったが皆が暫々待ち望んだ便りが、始めて許可された朗報にみな飛び上がって喜び決まったスペースに細かくぎつしりと書きこんだ、みんな同じ思いで・・。久しぶりです、先づ私が元気でいる事をお知らせします。今一番心配なのは家のこと、家族のこと、小さい弟妹たちの学校のこと等々、親の苦労は充分察します。どうか希望と確信をもつて生きぬいて下さい。周りの人達にも宜しく、文通が許されたと伝ってても内容が書けるものは何もない。健康であること平穩であること、或いは空気のことに位なのだ、その空気も暖かいとか、冷たいとか書いては駄目なんだ、それが抑留地の居場所につながるからかも知れない。

腹がへってかなわない、寒い労働がきつい、ノルマが云々など書こうものなら、反ソ、反動分子され懲罰大隊に送られるのだ、それなら一体何を書けばいいんだ。

同志スターリン・ソ連共産国家万歳!!とでも書けと云うのか?

我々収容所の日本人が祖国からの返信を心待ちにしていた或る八月の暑い夜突然点呼の鐘がラーゲル収容所のバ

ラックに無気味に鳴り響いた。

レールの切り端をぶら下げこれを打つ、鐘は各集合などの合図であり我々の

日常の生活を規制していたので皆で

「地獄の鐘」とも呼んでいた。しかし

夜中の鐘は珍しい監視兵が営庭に整列

させた人々を馬鹿みたいに怒鳴りつけ

何度も数え直した。監視の奴等は明らかに、あわてふためいていた。脱走者が

でたらしいぞ何人だ分からん。ひそひそ話が聞こえた、皆がバラックに帰

った時は真夜中になっていた。

こんな事件があつて沈んだ鬱悶気が

深い人々はダモイ(帰還)を口にする

事も少なくなつた。折角出した家族か

らの返事が一向に届かないのもみんな

の締め気分に拍車をかけた。

シベリアの空が冷たく暗い鉛色に覆

れた十月の末久しぶりに所内は明るさをとり戻した。

祖国日本からの初めての返信の一通

が届いたのだ。葉書を出してから五ヶ月目ソ連に連行されてから三年近くな

つてゐる。

漸く家族からの消息に荒みかけていた

表情にも明るさが甦つた。

バラックに戻ると返信のあつた者は

背を丸くして真剣な表情で読んでゐる。

くり返し読んでゐる彼に皆が注目する。

北村君、新妻からと余計な折介をする。

この一枚の葉書が他の人達にとって

も自分の家から来たのかの様に喜び同

じ幸せな気分になつた。

この後次々に返信が届くようになって

た。

福島出身のいい所の息子でいかにも

坊ちゃんぽいおっとりした純真な男は

はがきを受取り、天井を見上げ「ああ

「うん」となんか、わけのわからぬ事

をわめいている。

どうした悪い事でも書いてあるのか

皆は心配して尋ねた。それは老いた母

親からのもので妻の再婚を知らせてき

た。その相手は彼の実弟であつた。

子供も小さいし戦後数年も消息もな

いので戦死したのに違いないと周りが

配慮した結果だろうが周りでみている

のも辛くなる程可愛相であつた。

次回は

## 俳句

大代西 松浦 富男

それぞれの花の姿やあやめかな  
澄み切つてあやめの映せる涼

俳人の苦吟の体やあやめ園  
青嵐杉の大揺れ露天風呂

葬列の石段高く梅雨の荒れ

笠神地区 本郷 勝子

あかしやの香りを包む母の墓  
夕暮でどくだみ白きかおり満ち

七夕の雨に煙るは願ひごと  
梅雨寒や鳥丸くなりひざこぞう

出羽の風川ごうごうと合歡の花

## 川柳

大代西 藤田 遊子

### 「川柳緊急時事評」

- ・拉致家族らちがあかずに六か月
- ・二兆円の税を食べるや大銀行
- ・パチンコの副知事給料は二百万円
- ・旧軍の毒ガス飲むや神栖民
- ・消費税アップは弱い者イジメ

### 文芸短評

大代西 藤田 遊子

『奥松島奇岩怪石藤の花』松浦 富男  
七月号の松浦さんの句は身近な場所を取り上げ、海の青と松の緑に藤の花の紫でコントラストを付け、奇岩怪石の外一切を捨てて名詞のみとし、奥松島の全貌を立体的に捉え、読者を一挙にシネマスコープに引きずり込む見事な実景作品に拍手、脱帽。終わりに私の愚作で失礼します。

### 短歌

大代南 本郷 貞子

母逝きし齡すぐるも母を恋う  
わけて夜干の梅匂う夜は

大代西 小倉 紀美子

草津の湯街中に見る湯島に  
地底の不思議垣間見ること

大代西 佐藤 あさよ

もやの立つ幾ばくの畑みめぐりて  
朝げのさやを一にぎりつむ